



↑
島根県警HP
掲載中

交通安全ニュース松江

しじみ通信



運転者は「しっかり・じっくり・みて運転」
歩行者は「しっかり・じっくり・みて横断」

反射材や早めのライト点灯で
「しっかり・じぶんを・みせる」

松江警察署

薄暮時間帯の交通事故に注意



秋が深まり、日没が早まる10月は「薄暮時間帯」に事故が増える季節です。視界が急に暗くなり、歩行者や自転車が見えにくくなることで重大事故に繋がっています。

ドライバーの皆さん

- ・ 早めのライト点灯。上向きライトの活用。
- ・ 横断歩道では必ず一時停止。
- ・ 脇見をせず、歩行者等に十分注意

～反射材の効果～

服によってドライバーから
見える距離が
こんなに違ってきます！



黒っぽい服
20m

ねずみ色の服
30m

白っぽい服
40m

反射材をつけた時
57m

歩行者、自転車の皆さん

- ・ 反射材の活用。懐中電灯の携行。
- ・ 明るい衣服の着用。
- ・ 自転車は必ずライト点灯、ヘルメットの着用
- ・ 無理な横断はせず、横断歩道を利用

下向きライトの
照射距離は40m

60km/hだと
停止距離は
44m

上向きライトの
照射距離は100m

交通安全しじみフェスティバル 2025 in 松江



また、パトカーや白バイ、レスキュー車などの展示も行われ、多くの子ども達が運転席に座ったり白バイにまたがったりしながら「このボタンは何ですか」など、興味津々に質問していました。
子ども制服を着用して警察官になりきって写真撮影もしました。
来場者からは、「家族で交通ルールを改めて勉強したい」「子ども達が交通安全について楽しく学べるきっかけになりありがたい」などの感想が聞かれました。

イベントでは、しんじ幼保園児によるパフォーマンスや、子ども限定で「オリジナル免許証」や「反射材作り」ができるブース、自動ブレーキなどの最新安全技術を体験できる「サポカー乗車体験」、シートベルトの大切さを体感できる体験コーナー、ゲーム感覚で運転技術で磨ける体験ブースなどが設けられ、たくさんの来場者で賑わいました。

9月23日、松江市打出町の島根県運転免許センターにおいて、子どもから大人まで楽しめる交通安全啓発イベント「しじみフェスティバル2025 in 松江」を開催しました。

松江市連合婦人会等による 交通安全署名簿の提出

9月24日、松江警察署において14回目となる松江市連合婦人会及び松江市交通安全母の会による交通安全署名簿の提出式が行われました。

式では同会長、万代悦子様が、「交通安全活動は家庭から」をスローガンに決意表明を読み上げた後、松江市交通安全母の会の会員199名が、地域の方々に呼びかけ集めた、2千人を超える交通安全署名簿を松江警察署長に提出しました。

提出に併せて同会には、引き続き反射材の活用促進を図っていただくため、反射着用推進リーダー「松江キラリしじみ隊」に委嘱しました。



いっしょに子育て研究所 津田校へ キラリキッズしじみ隊を委嘱



9月26日、松江警察署では、児童クラブいっしょに子育て研究所こそけん学園津田校を「キラリキッズしじみ隊」に委嘱しました。

同クラブからの交通安全講話依頼がきっかけでしたが、職員の皆さんは日頃から交通安全への意識が高く、この取組にも快くご協力くださいました。

委嘱式では、子どもたちが元気いっぱいに安全を誓い、その後は交通安全教室で学びを深めました。

「キラリキッズしじみ隊」は、夕暮れ時に道路を歩く機会が多い児童クラブに委嘱し、地域のお手本となることを目的としています。

やくも保育園児一日おまわりさん 任命式、広報検問を実施

9月29日、やくも保育園児を一日おまわりさんに任命し、ドライバーに交通安全を呼びかける広報検問を行いました。

広報検問では、園児が手作りの交通安全メッセージを付けた地元産の新品をドライバーに配布しながら「新米ドライバーの気持ちになつて安全運転してください」と呼びかけました。

小さな「おまわりさん」の真剣な呼びかけに、受け取ったドライバーからは笑顔や感謝の言葉があふれました。

園児の純粋な思いは、交通安全の大切さを改めて市民の皆様に実感させてくれる機会となりました。



交通事故発生状況

令和7年9月末現在（速報値） ※（ ）は前年比

	発生件数	死者数	負傷者数
島根県内	486（-25）件	12（+5）人	548（-24）人
松江市内 （高速道路を除く）	183（-10）件	4（+3）人	197（-6）人

